

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	東海	(2) 記載者氏名:	堀 文昭	会員番号:	13301	事務局整理記入欄	東海 - 1
分水嶺区分	E657馬返し～W003茶臼山	(3) 山行日:	2003年	9月	2日	(4) 天候	曇時々晴

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

堀 文昭	13301						
鈴木 茂三	12191						
平野 重夫	非会員						
計		3名			計		0名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	伊那から将棊頭山を経由する木曾駒ヶ岳登山道 分水嶺区分: 3.4 km												
アプローチ:	多治見～伊那C～桂小場(往復)												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特 記
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	桂小場							1,240.0		8:25			
分水嶺到達点E657	馬返し	木曾駒ヶ岳						1,910.0	10:10	10:15	A-1	(8)	
E658	大樽避難小屋	"						2,070.0	11:00	11:10	A-1	(8)	
E659	茶臼山分岐	"						2,530.0	12:55	13:00	A-1		
W002	行者岩	"						2,658.0	13:00	13:05	B-2	B-2区間は僅少	
W003	茶臼山	"						2,652.7	13:45	14:00	A-2	(7)	
分水嶺離別点	行者岩南東直下	"						2,540.0			A-1		
歩行終了点	西駒山荘	"						2,690.0	15:30				
GPSは使用せず										総歩行時間(休憩時間を除く):		6時間	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W002	茶臼山	3		良好	砂地からわずかに頭を出している

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

馬返し地点の神社記号	: 現存せず
大樽避難小屋	: 使用可能(水場なし)
茶臼山東700mの神社	: 「津島神社」の標柱があるのみ、建造物はなし

(9) 水および植生に関連した特記事項

登山口はヒノキ、カラマツで始まり、登るにつれてダケカンバ、シラビソと変わる樹林のルートである。茶臼山にはわずかにハイマツが見られる。
東西を天竜川水系と木曾川水系に囲まれ、その間へ信濃川水系の奈良井川が食い込んでいるため、分水嶺がV字形に屈曲する特異な地点である。

(10) その他の特記事項

このコースは、東海支部が担当する区間の中で唯一登山道がある。
宝剣岳直下の千畳敷ヘロープウェーが架かって以来、ここを登る人は激減したであろうが、道は維持されている。
行者岩から茶臼山間は、木曾福島から正沢川経由の木曾駒登山道が細々と続いている。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 東海支部担当区間の最高標高地点である行者岩 2658m

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。

--

